

プログラム名	<h1>森のレストラン</h1>
ねらい	草花や樹木などを食材に見立て、料理のように画用紙に並べる活動を通して、身近な自然を利用した遊びの面白さ、自然物の色や形などの多様さなどに気付くことができる。
内容	木の実や落ち葉、枝など、拾い集めた草花や樹木を画用紙の上に並べて、「料理」をつかって遊ぶ活動です。

◆ 関連付けて取り組みやすい各教科等の内容

<ul style="list-style-type: none"> 小学校 生活 身近な人々、社会及び自然と関わる活動 (5) 季節の変化と生活 (6) 自然や物を使った遊び 小学校 図画工作 A表現 など

※学校の実態に応じて、総合的な学習の時間及び特別活動と関連付けて実施することも可能です。

◆ 活動の様子



【木の実や葉っぱの組み合わせを楽しむ様子】



【自然物の色や形から発想を広げる子ども】

◆ 活動を通して育成が期待される主な資質・能力

学習指導要領に示されている資質・能力	
実際の社会や生活で生きて働く 知識及び技能の習得	○
未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力等の育成	
学んだことを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力、人間性等の涵養	

“「問い」を発する子ども”の具体的な姿	
問題を発見する姿 「それは、どういうことか？」	
解決に向けて他者と関わろうとする姿 「こうするとよいのではないか？」	
主体的に問題解決を図ろうとする姿 「こう考えるがどうか？」	○

◆ プログラムの展開例 「森のレストラン」

学校等での 事前学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の校庭で、身の回りにある自然を観察する。 ・ 公園で動植物を観察したり、公園に来ている人と関わったりする。 ・ 公園にある自然や物を使った遊びを考え、みんなで楽しく遊ぶ。
--------------------------	---

	児童生徒の活動内容	指導者側の留意点
大館 少年自然の家 での 学習 【100分】	1. 活動のめあてを確認する。【5分】 きのみやはっぱでりょうりをつくって、たのしくあそぼう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ どんな料理をつくりたいか思い描けるように、身の回りにある木の実や落ち葉について想起させる。
	2. 活動の見通しをもつ。【10分】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動場所、活動の流れを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全に活動できるように、活動の約束や危険な動植物などを伝える。
	3. 木の実や落ち葉を集める。【30分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然物の色や形の多様さなどに気付けるように、視点を示す。
	4. 集めた木の実や落ち葉を画用紙の上に並べ、料理をつくって遊ぶ。【30分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊びの面白さに気付けるように、自由な発想を大切に、それを引き出す声掛けをする。【学校職員】
	☆次のような「“問い”」を発見し、解決に向かって試行錯誤する場面」を支援します☆	
	<p>“問い”の例</p> <p>◎木の実はどこにあるのかな？ ・ 集めた材料で何をつくらうかな？ ・ どんな工夫ができるかな？</p> <p>発言：児童生徒</p> <p>支援：指導者</p> <p>今度はデザートをつくってみよう。</p> <p>更に工夫できることはないか問いかける。</p> <p>◎どんぐりはナラの近くにあるんだ。 ・ どんぐりをカレーライスにしよう。 ・ 赤い木の実は福神漬けにしてみよう。</p> <p>解決の姿</p> <p>どんぐりは、木の下にありそうだぞ。</p> <p>適宜、草花や樹木について話をする。</p> <p>どんぐりの色に似ている料理は...</p> <p>他の木の実や葉っぱも探してみよう。</p>	
5. 活動のまとめをする。【20分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然物の特徴を作品作りに生かそうとする態度を褒め、意欲を高める。【学校職員】 	
6. 活動を振り返る。【5分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動のねらいに沿ってまとめられるように、活動シートを準備する。 ・ 振り返りの視点を示す。 	

学校等での 事後学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節（の変化）と自分たちの生活の関わりについて振り返る。 ・ 拾い集めた木の実や落ち葉などを使っておもちゃをつくる。 ・ つくったおもちゃで、友達や園児と遊ぶ。
--------------------------	--

プログラム名	<h1>グリーンウォッチング</h1>
ねらい	自然の家周辺に自生する樹木を観察し、それぞれの樹木の特徴について仲間と話し合う活動を通して、身近にある自然環境の豊かさを実感したり、樹木についての興味を高めたり、生物を愛護する態度を養う。
内容	グループごとにコース上に設定されたチェックポイントにある樹木を観察し、ヒントを基にその樹木の名前を当てる野外活動です。（活動時間は2時間としていますが、1時間程度で実施可能なミニコースも選択できます。）

◆ 関連付けて取り組みやすい各教科等の内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校 理科 第4学年 B生命・地球(2) 季節と生物 ・ 小学校 社会 第5学年 (5) 我が国の国土の自然環境と国民の生活との関連 ・ 小学校 国語 第3～6学年 B書くこと など

※学校の実態に応じて、総合的な学習の時間及び特別活動と関連付けて実施することも可能です。

◆ 活動の様子



【チェックポイントにある樹木を観察する様子】



【樹木の特徴から、樹木名を予想する子どもたち】

◆ 活動を通して育成が期待される主な資質・能力

学習指導要領に示されている資質・能力	
実際の社会や生活で生きて働く 知識及び技能の習得	
未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力等の育成	
学んだことを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力、人間性等の涵養	○

“「問い」を発する子ども”の具体的な姿	
問題を発見する姿 「それは、どういうことか？」	
解決に向けて他者と関わろうとする姿 「こうするとよいのではないか？」	
主体的に問題解決を図ろうとする姿 「こう考えるがどうか？」	○

◆ プログラムの展開例 「グリーンウォッチング」

学校等での 事前学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> 身近な植物について、探したり育てたりする。 森林の分布について調べたり、森林の働きについて考えたりする。 新聞やリーフレット、詩、俳句に触れたり、言葉集めをしたりする。
--------------------------	--

	児童生徒の活動内容	指導者側の留意点
大館 少年自然の家 での 学習 【120分】	1. 活動のめあてを確認する。【5分】 樹木を観察して自然に親しもう。	<ul style="list-style-type: none"> 樹木に触れた経験を聞き、身近にある樹木への関心を高める。
	2. 活動の見通しをもつ。【15分】 <ul style="list-style-type: none"> 活動の流れや観察するポイント、危険箇所を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明用の図や写真を掲示する。 グループで話し合ったり、作戦を考えたりする時間を設ける。
	3. グループごとにコースを回り、樹木を観察する。【85分】 <ul style="list-style-type: none"> 活動シート(ヒント)を基に、樹木の特徴を調べる。 樹木の名称を予想する。 	<ul style="list-style-type: none"> 先に出発して安全確認をする。最後の班の後方にも職員が付く。 葉や幹の特徴の他に、視覚以外の特徴についても気付けるように助言する。【学校職員】
	☆次のような「“問い”を発見し、解決に向かって試行錯誤する場面」を支援します☆	
	4. 活動のまとめをする。【10分】 <ul style="list-style-type: none"> 樹木の特徴を情報交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> 植物の特徴を捉えた児童生徒の発言を拾い上げ、全体に広げる。【学校職員】
	5. 活動を振り返る。【5分】	<ul style="list-style-type: none"> 解答シートを見比べたり、樹木の特徴を話したりする時間を設ける。 振り返りの視点を示す。

学校等での 事後学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> 植物の成長や季節による変化を調べたり、観察したりする。 森林資源の果たす役割や自然環境について考え、議論する。 調べたことや体験したことを新聞やリーフレット、詩、俳句などで表す。
--------------------------	---

大館少年自然の家 体験活動プログラム

プログラム名	天体観察
ねらい	月や星を観察したり、季節に応じた星座にまつわる話を聞いたりする活動を通して、月や星、星座に関する知識を深めたり、天体望遠鏡を使って観察したりすることができる。
内容	天体に関する説明を聞き、北極星や夏の大三角等の星を観察したり、天体望遠鏡を使って月の表面の様子を観察したりする活動です。

◆ 関連付けて取り組みやすい各教科等の内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校 理科 第4学年 B生命・地球(5)月と星 ・ 小学校 理科 第6学年 B生命・地球(5)月と太陽 ・ 中学校 理科 第2学年 2(6)地球と宇宙
--

※学校の実態に応じて、総合的な学習の時間及び特別活動と関連付けて実施することも可能です。

◆ 活動の様子



【星によって明るさや色が違いがあるね。】



【月の表面はこんな様子なんだね。】

◆ 活動を通して育成する主な資質・能力

学習指導要領に示されている資質・能力	
実際の社会や生活で生きて働く 知識及び技能の習得	○
未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力等の育成	
学んだことを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力、人間性等の涵養	

“「問い」を発する子ども”の具体的な姿	
問題を発見する姿 「それは、どういうことか？」	
解決に向けて他者と関わろうとする姿 「こうするとよいのではないか？」	○
主体的に問題解決を図ろうとする姿 「こう考えるがどうか？」	

◆ プログラムの展開例 「天体観察」

学校等での 事前学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 方位磁針を用いて方位の確認をする。 ・ その季節に見ることのできる星座について調べる。 ・ 日中に見られる月の様子を観察する。
--------------------------	---

	児童生徒の活動内容	指導者側の留意点
大館 少年自然の家 での 学習 【60分】	1. 活動のめあてを確認する。【5分】 月や星を観察して、天体博士になろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 天体についての関心を高められるよう、知っている星や星座を聞く。
	2. 活動の見通しをもつ。【5分】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の流れや注意することを聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全に活動することができるよう、屋外での活動のルールを確認する。
	3. 天体に関する説明を聞く【10分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 興味をもって観察ができるように、星座についての話をする。
	4. 天体観察をする。【25分】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 望遠鏡の使い方の説明を聞く。 ・ 望遠鏡を使って天体を観察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スムーズに活動が進められるよう、望遠鏡の使い方を演示する。
	☆次のような「問い」を発見し、解決に向かって試行錯誤する場面」を支援します☆	
	4. 活動のまとめをする。【10分】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 気付いたことを友達と伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事故防止のため、暗い場所での児童の行動に注意を払う。
	5. 活動を振り返る。【5分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な気づきを伝え合うことができるよう、少人数の活動を設定する。 ・ 振り返りの視点を示す。

学校等での 事後学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットや本を参考に星や星座に関する興味・関心をさらに広げる。 ・ 家庭でも夜空を見上げ、星座早見盤等を用いて星座を調べる。
--------------------------	--

大館少年自然の家 体験活動プログラム

プログラム名	川遊び
ねらい	長木川及びその川原での川遊びを通して、自然に親しみながら、川にすむ生き物に愛着をもって接したり、大の字浮きや背浮きといった水に浮く運動に積極的に取り組んだり、学んだことを生かして川の様子を調べたりしようとする事ができる。
内容	長木川及びその川原で、生き物探しや浮いて流されるなどの様々な川遊びを体験する活動です。ライフジャケットを着用した状態での安全確保の仕方や、カヤックを体験することもできます。

◆ 関連付けて取り組みやすい各教科等の内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校 生活科 身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容 (7) 動植物の飼育・栽培 ・ 小学校 体育科D 水遊び及び水泳運動 ・ 小学校 理科 第5学年 B生命・地球(3) 流れる水の働きと土地の変化 など
--

※学校の実態に応じて、総合的な学習の時間及び特別活動と関連付けて実施することも可能です。

◆ 活動の様子



【長木川に棲む生き物を探してみよう!】



【空を見ながら浮くと息がしやすいよ!】

◆ 活動を通して育成する主な資質・能力

学習指導要領に示されている資質・能力	
実際の社会や生活で生きて働く 知識及び技能の習得	
未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力等の育成	
学んだことを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力、人間性等の涵養	○

“「問い」を発する子ども”の具体的な姿	
問題を発見する姿 「それは、どういうことか？」	○
解決に向けて他者と関わろうとする姿 「こうするとよいのではないか？」	
主体的に問題解決を図ろうとする姿 「こう考えるがどうか？」	

プログラム名	<h1>ポリ袋調理体験</h1>
ねらい	ポリ袋を使った調理体験を通して、地域で起こりうる災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることを考えたり、選択・判断したりすることができる。
内容	災害に対し、様々な備えをしていくことを考えながら、災害時に飲料水が少ない状況でもおいしく温かい調理ができる方法を学びます。 (出前講座として、学校や職場、施設でも体験できます。)

◆ 関連付けて取り組みやすい各教科等の内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校 社会科 第4学年 (3) 自然災害から人々を守る活動 ・ 小学校 家庭科 B衣食住の生活 (2) 調理の基礎 <p style="text-align: right;">など</p>
--

※学校の実態に応じて、総合的な学習の時間及び特別活動と関連付けて実施することも可能です。

◆ 活動の様子



【ポリ袋にカレーの食材を入れている様子】



【「ご飯、炊けたかな？」鍋をのぞく子どもたち】

◆ 活動を通して育成する主な資質・能力

学習指導要領に示されている資質・能力	
実際の社会や生活で生きて働く 知識及び技能の習得	
未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力等の育成	○
学んだことを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力、人間性等の涵養	

“「問い」を発する子ども”の具体的な姿	
問題を発見する姿 「それは、どういうことか？」	
解決に向けて他者と関わろうとする姿 「こうするとよいのではないか？」	○
主体的に問題解決を図ろうとする姿 「こう考えるがどうか？」	

◆ プログラムの展開例 「ポリ袋調理体験」

学校等での 事前学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力等について調べる。 ・ 災害時の避難所での生活について調べる。 ・ グループを編成しておく(5人程度)。
--------------------------	--

	児童生徒の活動内容	指導者側の留意点
大館 少年自然の家 での 学習 【140分】	1. 活動のめあてを確認する。【5分】 災害時の食事には、どんな備えが必要かを見付けよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時の状況(使える水が少ない等)を示し、目的意識をもたせる。
	2. 活動の見通しをもつ。【15分】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動内容や作業手順を確かめる。 ・ 調理器具の扱い方を確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループで活動する。 ・ 火気の使用について確認する。包丁を使用しない場合の工夫について問い掛ける。
	3. ポリ袋調理体験をする。【100分】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 食材を準備しポリ袋に入れる。 ・ 沸騰したお湯にポリ袋を入れる。 ・ 試食する。 ・ 備えておきたいことについて話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループでの作業が円滑に進むように、手順を図示しておく。 ・ 袋を取る際、やけどに注意させる。 ・ 家庭の様子を想起させ、自分でできる災害への備えについて話し合うように促す。
	☆次のような「問い」を発見し、解決に向かって試行錯誤する場面」を支援します☆	
	<p>“問い”の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水道が止まったら大変だよ。 ・ 電気やガスが止まったらどうする？ ・ ポリ袋調理なんて知らなかったよ。 <p>発言：児童生徒</p> <p>支援：指導者</p> <p>解決の姿</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 少ない水でも調理ができれば助かるね。 ・ この間停電したときは、どうしたかな。 ・ 家庭での調理の様子を想起させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水やカセットガスはどのくらい準備しておけばいいかな。 ・ 今日の調理で使った量を確かめさせる。 ・ ポリ袋を使うと、普段からいろんな調理ができそうだね。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 片付けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全面に配慮して児童の様子を見守り、適宜支援する。【学校職員】 	
4. 活動のまとめをする。【15分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害に備えて、自分ができていることについて考えたことを認め、励ます。 	
5. 活動を振り返る。【5分】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りのポイントを示す。 	

学校等での 事後学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> ・ もしもの災害時に自分ができることや、家族でできる備えなどについてまとめて発表する。 ・ 自宅でポリ袋調理に挑戦する。
--------------------------	---